

《その他科目 その他》

科目名	環境教育の指導法				
担当者氏名	野路 義幸				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	4年・春期

《授業の概要》

「環境の世紀」と言われる今、環境の保全について学ぶ機会ととらえ、学校教育を通じ「生きる力」の一つに加える必要がある。環境にかかわる学習の機会や場を計画的に設ける工夫が必要になる。「環境から学ぶ」「環境について学ぶ」「環境のために学ぶ」を柱に、環境に対する豊かな感受性の育成、環境に関する見方や考え方の育成、環境に働きかける実践力の育成の三点を狙いとして小学校教育に生かせる力量を培う。

《授業の到達目標》

環境の世紀の意味を理解し、自らが実践する。
環境教育の取り組み方を理解する。

《成績評価の方法》

平常点（授業参加・授業内レポート） 40%
レポート（課題レポート・期末レポート） 60%

《テキスト》

教科書：授業時に紹介します。

《参考図書》

参考書：授業時に紹介します。資料：授業時に随時配布します。

《授業時間外学習》

予習として、指示した資料を授業前に目を通す必要がある。また、授業の内容をまとめる課題を復習として指示する場合があります。また、授業外の時間にグループで打ち合わせや提示資料の作成を求めることもある。また、府内の教育研究会の機会をとらえて参加を求めることもある。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	1 環境について	オリエンテーション
2	2 環境教育	環境教育の基本的な考え方
3	3 環境保全	環境保全に関する取組
4	4 環境問題	環境問題の現状
5	5 教育として	小学校における環境教育の概要
6	6 環境教育の推進	小学校における環境教育の推進
7	7 環境教育の基本	小学校における環境教育の基本的な考え方
8	8 環境教育（1）	環境教育の指導上での留意事項と指導計画
9	9 環境教育（2）	環境教育の指導（生活科・社会科・理科・家庭科・道徳・特別活動など）
10	10 環境教育（3）	環境教育の指導（総合的な学習の時間など）
11	11 環境教育（4）	家庭や地域社会との連携・環境関係団体等との連携を図った実践について
12	12 課題研究（1）	地球温暖化・環境問題などからそれぞれの課題をグループごとで調べる
13	13 課題研究（2）	それぞれの課題をグループで発表（1）
14	14 課題研究（3）	それぞれの課題をグループで発表（2）
15	15 まとめ	まとめ